

たいしゃしけんはじめました



10月から僕は代謝試験を始めました。スタートしてからだいたい1ヶ月くらいだったので徐々に慣れてきて、だんだんチビの羊くんたち(小栗チルドレン)をかわいと感じるようになりました。動物を管理することの大変さを再確認できました。さらに代謝試験をしていて感じたことありますが、それは人間一人でできることは限られているということと、協力者に対する感謝の心の大切さです。代謝試験の準備をしているときやサンプリングをしているときなど、一人で作業をすると作業量に限界がありさらに簡単な見落としが出てくることもありましたが、2人で作業したときは2倍以上の量をこなし、さらに2人の観点で物事が見えるので見落としが減ったように思います。よく僕のおじいさんは、「1人でできる仕事は小説家だけで、他の仕事では多くの人が協力しなくてはならない」と言っていました。

たが、ようやく理解することができたと思います。

困難な作業や人手のかかる作業で手伝ってもらえると非常に助かり、ありがたい気持ちになりました。そういう時は自然と感謝したい気持ちになりました。感謝の気持ちはきちんと伝えないと協力してくれた人に申し訳ありません。そこでこれまで代謝試験の準備およびサンプリングに全面的に協力してくれた石田君に深く感謝致します。さらに今後も協力してくれることを期待します。あと皆様もぜひ積極的に小栗チルドレンに絡んでください。

おぐ

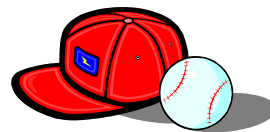


京町家、大学の近くにも結構あります

目次:

広岡先生の随筆	2
@サイエンティストゲーム	
酒と涙と男とシャーマン	3
8・10月お誕生日会♪	3
学会情報	4
畜産祭	4
サッカー始めました	4
お知らせ	5

四明会ソフトボール大会



10月12日、待ちに待ったソフトボール大会でした。本大会は四明会大会ということで、動物系混合チームでトーナメントに挑みました。僕はこの日のために同期と密かに特訓を行い、春のリベンジに燃えていました。当日は秋晴れ、絶好のソフト日和。朝からランニングとストレッチを済ませ、準備万端、意気揚々とグラウンドに駆け込んだ僕たちを待っていたのは、30人近くはようかという応生キャットハンズ。



寺地さん先発で始まったはくび会チームは、池田先生、南先生

そして最後はようこさんに継投。相手チームは強力打線。女性バッターも前進守備の頭を越える強打を放つなどパンチ力がありました。我々の打線は相手投手の緩急を使ったピッチングにコンパクトな打撃で対応。西田(チャンス×)がホームランを放つなど圧倒的な戦力を誇るキャットハンズに乱打戦を挑んだ結果、12-7という接戦(^^;)、惜敗でした。今後は守備を重点的に鍛え上げ、必ずや来春のはくび会大会では畜資チームが頂点に登り詰めます。

まえの

このところ一気に寒くなりましたね。つい先日まで、汗だくになって通学していたのが嘘のようで、机の上には名残のデオドラントシートがまだ置かれているのに…さて、食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋と言われますが、畜産資源は研究の秋、拍車がかかって忙しくなってきたようですね。学会発表や投稿論文の話を目にするようになりました。忙しいときこそ、自己管理が大切になります。寒さ対策や体調管理はもちろんです、研究に対する姿勢も自己管理を忘れずに。

好評連載 広岡先生の随筆

④サイエンティストゲームー博士過程から就職までー



博士課程に入学した時点から、研究者への道が本格的に始動する。基本的には、修士までとはほとんど変わらないのであるが、研究も4年目に入り、壁にぶつかりやすい時期を迎える。これまで問題なく順調に進んできた研究ほど、先が見えなくなり、行き詰まる傾向が強い。また、博士課程は3年間と長いため、ついつい気がぬけがちである。私もこの時期に結婚し、子供までできてしまった。



博士課程の目先の目的は、学位論文を書き上げることである。京都大学のわれわれのグループでは、最低でも原著論文3本を第1著者で書くことが、学位論文を申請することの暗黙の条件となっている。理想をいえば、国際学会誌に3本以上の論文を掲載し、それらをまとめて、general introductionとgeneral discussionを前後につけて学位論文として提出するのがベストである。

よく言われることであるが、学位(博士号)は、いまや運転免許のようなものである。運転免許がなければ公道を走れないのと同様に、学位がなければ、一人前の研究者とは認められない。特に、海外では、学位を持っているかどうかで扱いが大違いである。したがって、学位をあまり重く考えず、研究者になるための通過点の一つとぐらいに考えるべきである。

ずっと昔は、「末は博士か大臣か」といわれたぐらい学位は価値の高いものであった。そのことがあってか学生諸君の中には、学位論文を仕上げることをたいそうなことで考えて、なかなか提出に至らないものもいるが、学位論文は提出が遅れれば遅れるほどますます提出しにくくなるもので、取得は早ければ早いほど良い。

博士課程におけるもう一つの重要な課題は、研究者への就職である。就職は、その研究室の教授が見つけてくれるものというのは、半世紀以上前のことで、今は公募が一般的である。しかし、公募と言っても、実際には、「引き」があるケースが多いことも事実で、逆に採用する方からすれば、実力が同じであれば、よく知っているもののほうが、安心と考えるのも人情である。したがって、他人によく研究内容と人柄を知ってもらうのも重要な戦略である。そのためには、いろいろな学会で発表して、自分の研究をアピールすることが重要である。しかし、意外と学生諸君は理解していないかもしれないが、それ以上に懇親会に参加することが重要である。確かに懇親会は、最低でも数千円かかり、学生にとっては大きな出費に思えるかもしれないが、もしかしたら懇親会で知り合った人が、就職先を紹介してくれるかもしれない。そう考えれば、懇親会への参加が、後に数千万円のメリットをもたらしてくれることもありえることである。

大学であれば、学位を取得してすぐに助教に採用されるのがベストであるが、当然ポストがなければどんなに実力があっても就職はできず、その意味で、研究者の就職は運と不運に左右されると言える。私も就職には苦労したが、今から思えば、遠くの針に糸を通すようなものだったと、いまでもその時の奇跡に感謝している。

よく言っていることであるが、かつての助手(いまの助教)に採用されるための条件は、「群を抜いて研究業績が優れている」「人間性がすばらしく、事務能力、学生掌握能力にたけている」「そのどちらもが上位にある」の3つのパターンのいずれかであった。しかし、最近では、助教人事は、業績評価の他に面接も入るので、3番目のケースで特に優秀なもののみが採用の対象になると考えてまず間違いはない。そうであるならば、採用されることを考えている学生諸君は、研究成果を地道に積み重ね、かつ人間性を磨き、大学の雑用も事務仕事も厭わずに、それも勉強と考えると、積極的に身につけるように努力することである。

私は、研究者の就職に関して、これまでいろいろなケースを見てきたが、自分の経験も含めて、就職のための黄金律として次の3つがある。その一つは、研究に対して真摯であること、第2にくさらないこと、第3に困っている他人のために尽くすことである。第1のことは、当然であるが、第2に関しては、つい同僚や後輩が先に就職するようなことがあると、自暴自棄になり、研究に手がつかなくなることをよく聞かすが、これではまったくの悪循環で、事態をさらに悪化させるのみである。そのような逆境の時にこそ、その悔しさをバネにしてがんばるべきである。それが、運を呼び込むことになる。また、他人に尽くすことは、まったく奇妙なことであるが、私の経験則から、研究に困っている他人に尽くすと不思議と自分に運が向いてくるものである。科学的根拠もまったくないが、因果応報の逆で、他人のために尽くすと、それが回ってくるものである。

最後は、非科学的な話となったが、いずれにしても、研究者になることをめざし、博士課程に足を踏み入れた時点から、研究に身を尽くし精進することである。学生の中には、大学の先生になることが目標であるものや、大学で教育をすることが目的のものもいるが、そのような場合でも、研究を第1に考えて、人生を過ごすことが最も重要である。

広岡博之

酒と泪と男とシャーマン ～浮かれない夏2010～第2部

ある朝、風呂場で鏡を見ると連日の日焼けで顔がボロボロ、身体は数えられないぐらい虫に噛まれていた。疲れのせいか微熱もあったがその日も朝から餌やりをしに牧場へ向かった。牧場では、いつも手伝ってくれている若者が私の顔を見て逃げて行き、いつもかわいがっている犬には二度見をされ、吠えられた…。そんなに酷いかなと一人で作業をしていると、数分後、彼は自分の家族を連れてきた。彼の家族は私の顔を見るなり、彼らの知り合いを呼び、その知り合いはまた自分たちの家族を呼んできた。いつの間にか私の作業場は牧場の人たちでいっぱいになり、作業どころではなくなった。

集まった人たちで話し合いが行われた。話題はもちろん私の酷い顔について。

「何かに取り付かれたんだ。」

「元からかもよ。」

「感染症か。」

「呪われたんじゃないか？」

「酷い日焼けかもね。」

「日本人、肌の色、白いもんね。」

「どうする？」

「病院へ連れて行く？」

途中、正解も出てはいたが彼らでは結論付けることはできないと判断。病院はこの村には無く、薬局があるだけ。薬局の兄いちゃんは私の顔と身体に虫刺されを見て何を勘違いしたのか「顔がかさかさで身体はブツブツ、この病気を治す薬は無いね。」と自慢げに言う始末…。困っている姿(私の酷い顔)を見かねた牧場のおじさん、私に知り合いを紹介すると言ってくれた。なんでも、独自の手法で数々の病人を治療したり、また物を失くしたときに相談すると見事に解決してくれるというとても便利な人らしい。

ネパール版ドラえもん的存在か。

ん？

どこかでこの話、聞いたことあるぞ。

嫌な予感を感じつつ、私は牧場のおじさんが紹介するネパール版ドラえもんの家に訪れた。



第3部へ続く…

さかい

8・10月お誕生日会～♪♪

後期一発目のゼミを終えた夕方、8月と10月のお誕生日会が開かれました！(大人数なのに9月生まれさんがいらっしやらないのですね～)

「どうかリクエストを～」と、何でも来いの心持ちでお待ちしておりましたのに、みなさん奥ゆかしいですネ(σ・ω・;) 作りやすい方1番目から4番目で、ケーキをご用意させていただきました(´・ω・´)♪

そして今回はっ！お砂糖を食べられない酒井さん(可哀想…



フルーツのショートケーキ、ガトーショコラ、抹茶のシフォン、ガトーウィークエンド
ぜ～んぶ手作り！

(;_;)のため、かの有名な「唐揚げオン」(各種)が用意されました。酒井さんはじめ男性陣に好評だった(?)ようで、やはり唐揚げは永遠に「お弁当のおかずランク第1位」なんだろうなあ～としみじみ感じておりました。こんなふうに



柔軟に対応してまいりますので、次回もお楽しみに☆



イベント係り

友達の結婚式

10月11日に静大時代の友達が結婚式を挙げました。久しぶりに大学時代の友達に会えるので楽しみにしてました。結婚した彼は大学1年からの友達で僕の周りでは1番の男前！まあ当日は本人とあまり話す機会はなかったのですが、初めての結婚式は楽しかったです。新郎も新婦も幸せそうでした。料理のおいしくいただきました。今度京都に来てくれるのでそのときにゆっくり話したいと思います。幸せを少し分けてもらった休日でした。

おく



学会情報

11月2～4日に、コープイン京都にて、“International Symposium on Isotope Ecology 2010 in Kyoto”

(同位体生態学国際シンポジウム2010京都: 生物多様性と生態系機能の関係) <http://www.soc.nii.ac.jp/jass/kwansei2010/>

が開催されます。畜産資源からは、柳君(M2)がポスターセッションに参加予定です。2日の午後の“Flash poster talks”では、英語による1

分間スピーチもあるとのこと。頑張ってください！

11月6・7日には、関西学院大学上ヶ原キャンパスB号館にて、システム農学会2010年度秋季一般研究発表会が開催されます。
<http://www.soc.nii.ac.jp/jass/kwansei2010/>

畜産資源からは、加藤君(M2)がと永世院生の長命さんが口頭発表の予定です。優秀発表賞目指して頑張ってください！

畜魂祭

10月8日12時から畜魂祭がありました。畜魂祭は、教育や研究のために尊い命を犠牲にした動物たちの冥福を祈ることを目的としたものです。たとえ実際に家畜に接するわけでもなく、畜産について学び研究を行う以上、自身が行う研究の足元には多くの家畜の命が積み重なっていることを認識しなければならぬでしょう。(うな)



サッカー部はじめました

夏という言葉が懐かしいくらい涼しくなってきましたね。食欲の秋、芸術の秋etcといいますが、スポーツの秋部門ということでちくし有志はサッカーを始めました。毎週火曜屋休み農Gでやっています。若手とベテランの間にある越えられない壁、俗に言う体力差を間近で見ることが出来ます。よろしければどうぞ。(うな)



Let's エクササイズ♪

研究室にこもっての研究生生活は、とかく運動不足になりがちですね。畜産資源サッカー部は、秋の活動を始めたようですが、私は年中無休でエクササイズを満喫しています。大学近くのスポーツクラブでダンスにピラティス、ボディパンプ…毎週計10時間☆エクササイズにも流行り廃りがあって、最近の流行といえば、ズンバやラテン、ベリーダンスなどのダンス系(おば様達を虜にするフラダンスは今も大人気です)と今回ご紹介する癒し系のエクササイズが挙げられます。

癒し系で人気のピラティスは、元来戦争による負傷兵のために1920年代に開発されたエクササイズらしく、基本的にはベッド(マット)の上で行うメニューになっています。ほかのエクササイズとの大きな違いは、体幹の深層筋(インナーマッスル)に刺激を

与えて、バランスのいい体を作り上げることができる点です。

もうひとつは、ボディーヒーリング。これは、ヨガや太極拳、ピラティスの動きを取り入れた、ゆっくりとした動きのエクササイズです。バランスや柔軟性を鍛えることが期待でき、リラクゼーションにもなります。



いずれのメニューも老若男女を問わず、自分の体のコンディションに合わせて行えるエクササイズです。皆さんも秋の夜長、癒しのエクササイズでリラックスしてみたいかが？

ようこ

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

今月のゼミは、

11月 2日(火)	中川(智)(文献レビュー)木村	14:45-16:15	E103
11月 4日(木)	加藤・スリタヤニ(研究者会議)	10:30-12:00	E074
11月11日(木)	酒井・柳(研究者会議)	10:30-12:00	E074
11月16日(火)	中川(靖)・木村・荒木(文献紹介)	14:45-16:15	E103
11月25日(木)	中川(智)・西田(研究者会議)	10:30-12:00	E074
11月30日(火)	石田・小栗(文献紹介)	14:45-16:15	E103

の予定です。急な変更などがある場合には、事前にお知らせします。

ゼミ係り

今月のイベント

次回のイベントは、11月12月のお誕生日会です。日時は未定ですが、12月に忘年会を予定しているため、11月中の開催を予定しています。詳細が決まり次第、ご連絡します～

イベント係り

研究室の動向

現在実験動物棟において、羊を用いた二つの代謝試験（熊谷先生の実験は11月10日まで、小栗君の実験は12月まで）が並行して行われています。今年度第3回・4回目の学生実験が11月9・10日と17・18日に行われます。TAの皆さん、ご協力をよろしくお願い致します。放牧班は、熊本の放牧地における牛の行動観察の予定が入っています。修論・博論組は、そろそろ正念場というところです。

2010年 11月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
10/31	1	2	3 文化の日 小栗・柳・千千	4	5	6
7	8	9	10 塚原・竹内 体重測定◎5頭	11	12	13
14	15	16	17 中川(智)・中川(靖) 徳山	18	19	20
21	22	23	24 木村・安在 体重測定◎5頭	25	26	27
28	29	30	12/1	2	3	4

編集後記 ブラジル初の女性大統領が誕生することになりました。今年に入ってから、コスタリカ大統領、トリニダード・トバゴ首相、オーストラリア首相と、女性の表舞台での活躍が顕著です。ウーマン・リブから約40年、世界は着実に変化を遂げていますね。個人的にはフェミニストではありませんが、いつも気になるのは、社会的性差と生物学的性差が混同されているのではないかという点です。男性・女性それぞれに、できることとできないことがあるのは当然で、その上で社会的な性差別を低減するのだという認識が必要だと思います。皆様、デリカシーをお忘れなく！